

希望を胸に新学期

久住小学校開校式



全校児童の前で、新井満さん作詞・作曲の校歌が披露された



桜の花をモチーフにデザインされた校章



佐藤教育長(左)から新宮校長に手渡される校旗

久住第一小学校と久住第二小学校が統合した久住小学校の開校式が4月5日に行われ、児童たちの新しい学校生活が始まりました。式典では、久住小学校の新しい校歌が披露され、児童たちが元気な声で斉唱。また、会場のステージに掲げられた新しい校章は、厳しい冬の寒さに耐え、春になると満開の花を咲かせる桜のように、我慢強く、元気に成長してほしいという願いを込めてデザインされたものです。

耀窟神社の湯立て祭り

無病息災を祈願

満開の桜が咲き誇る4月10日、西大須賀の耀窟神社で、約700年前からこの地区に伝わるといわれる「湯立て祭り」の神事が行われました。熱湯の中に入れた熊笹が氏子たちの前で大きく振られ、湯のしずくを浴びると、1年間健康で過ごせるというご利益が。神事が終わると、同地区郷土芸能保存会の皆さんによる神楽が奉納されました。



市の無形民俗文化財に指定されている神楽



湯のしずくを浴びて

下総利根宝船公園

巨大な展望台が出現



宝船をイメージした展望台



下総地区(猿山)に「下総利根宝船公園」が、4月1日にオープンしました。公園には、展望台(宝船)、芝生広場、じゃぶじゃぶ池、遊具などがあります。芝生広場中央には、下総地区の下総七福神巡りにちなみ、七福神をモチーフとしたモニュメントが。展望台からは、利根川、筑波山、条件の良い日には富士山を望むことができます。

※くわしくは公園緑地課(☎20-1562)へ。

たけのこ掘りと竹細工教室

竹やぶで“宝探し”

親子でタケノコを収穫し、楽しんでもらおうと4月16日、八生公民館で「たけのこ掘りと竹細工教室」が行われました。参加した親子は、八生地区のボランティアから、タケノコの探し方や鍬の使い方を教えてもらい、いざ竹やぶへ。今年は天候の影響で例年に比べ、タケノコが少なく、参加した親子は、宝探しを楽しむように、協力してタケノコを見つけていました。



一緒に掘ろうね

大きなこいのぼりを描こう

伸び伸びと、鮮やかに

こいのぼりの模様付けの共同作業を楽しんでもらおうと、「大きなこいのぼりを描こう」と題した催しが4月23日、子ども館で行われました。さまざまな色の



思い思いの色で模様付け

ろうを溶かした”絵の具”をはけに浸し、子どもたちが元気に色付けを始めると、真っ白だった全長5メートルのこいのぼりは、たちまちカラフルな姿に。その後、ローラーを使って墨汁を塗っていくと、ろうで描いた部分が鮮やかに浮かび上がり、子どもたちから歓声が上がっていました。共同作業の成果である作品は、子ども館1階のサロンに飾られています。

成田都市計画道路3・4・9号 大蕪新宮線

中台～玉造区間が開通



中台と玉造が「目と鼻の先」に

JR成田駅西口と、成田新高速鉄道(成田スカイアクセス)成田湯川駅を連絡する重要路線である、大蕪新宮線(全線2,350メートル)。未整備だった中台～玉造区間の494メートルが完成し、

4月20日に開通しました。この道路の完成により、JR成田駅西口から玉造地区へのアクセスが格段に改善されました。

